

人形が主役？



節分のオニの的当てや雛人形とこの時期は人形が前面に出ている行事が続いています。お人形遊びは女の子なら誰でもしたことがあるほど身近な遊びですね。お人形が話の中心にいる絵本や児童書ではホラーでも何となくほのぼのとしています。この季節に推理小説なども含めて人形が出てくる小説を読んだり、実際に作ってみてはいかがでしょうか。

(高橋和子)

梨木香歩『りかさん』偕成社 2003

女の子憧れの着せ替え人形「リカちゃん」。この主人公もリカちゃん人形が欲しかったのですが、おばあちゃんから貰った人形は市松人形の「りかさん」。このりかさん「特殊能力」の持ち主です。りかさんを通じて古い人形たち、かつての持ち主たちの思いに触れていくお話です。



井上ひさし,山元護久『ひょっこりひょうたん島』全13巻 ちくま文庫
人形劇で有名なひょっこりひょうたん島。日本各地に自称[ここがモデルです]という島があり、キャラクターたちも登場したりしているので、知っている方も多いと思います。当時の台本も映像も殆ど残っていないようですが、これは台本を文庫化したものです。読み物としても楽しく読めます。

小川洋子『猫を抱いて象と泳ぐ』文藝春秋 2009

からくり人形がチェスを指す話です。もちろん中に人が入って動かしているのですが、中に入っていた少年(リトル・アリョーヒン)がとても強い。チェスのルールを知らなくても楽しめる1冊です。



小説

江戸川乱歩『魔法人形』ポプラ社 2005

赤川次郎『人形達の椅子』角川文庫 1998

コナン・ドイル『シャーロックホームズの帰還 おどる人形』角川文庫 2016 *

小野不由美『ゴーストハント2 人形の檻』メディアファクトリー 2011 * など

絵本の主人公たちを作ってみるのも……

福音館書店編集部『ぐりとぐらのてづくりブック』福音館書店 2013

タカモリ・トモコ『ペネロペのあみぐるみ』岩崎書店 2009

『ミッフィーのあみぐるみ』講談社 2001

原優子『絵本の国のぬいぐるみ』白泉社 2009 など

*は所蔵していません。